室は、

12月の日本語能力検定に

習生に教えています。

11月18日に行われた日本語教

では約20人のインドネシア人実 そこから口コミが広がり、現在

# 本語教·

玉

も

や व (1 塩

竈

C

そのうち344人が技能実習牛 人の外国人が暮らしていて、 して働いています。 暮らしているか知っています 平成30年12月末時点で54 市内に何人の外国 安川さんは よって』の違いはなんですか」な 習生から「『~にとって』と『~に ような質問が飛び交いましたが、 けた内容でした。

説明するのに迷ってしまう

てくれました。 きたいと考えています」 増えるような取り組みをしてい これから、日本語を教える人が に教えられていない状況です。 う人がたくさんいますが、 いました。 安川さんは 「勉強したいと

つ丁寧に説明する安川一さん(左)

本語を教えることになりました。 男性実習生2人を紹介され、日 事に来ていたインドネシア人の ました。その後、震災の復旧工 生になるための養成講座を受講 は退職した後、日本語学校の先

日本語サポーターに登録してい

宮城県国際化協会(M—A)の

東日本大震災でした。

安川さん

催するきっかけとなったのは、

安川さんが、日本語教室を開

開催しています。

象に月2回程度、日本語教室を

インドネシア人を対

塩釜国際交流協会

るのが安川一(はじめ)さんです。

フンティアで日本語を教えてい

がら、一つ一つ丁寧に説明して

その実習生に7年前から、

れたらうれ

しいなあ」と話しな 「検定に受かってく

# シリーズ 塩竈の魅力再発見⑩

# 「新しい」を受け入れるまち

「新しい人、新しいもの、新しいことを受け入 れられることが塩竈市の魅力です」と話してくれ たのは、観光振興ビジョン推進メンバーの大江玲 司さんです。大江さんは、塩釜水産物仲卸市場の マイ海鮮丼コーナーの運営などを行っています。

大江さんは「ほかの町でも、地域振興などの事 業を行いましたが、地域の人に受け入れてもらえ ず失敗したことがあります。塩竈市は他者を受け 入れる姿勢がありますね」と話します。

「私のような水産業に関係のない人や、東日本 大震災での環境の変化などを柔軟に受け入れた結 果として『マイ海鮮丼』という取り組みが多くの人 に楽しんでもらえているのだと思います」と続け ました。



参加した実

大江さんは「これからも『新しい』を受け入れ、全 国からおいしいものが集まる市場にしていきたい ですね」と意気込みを話してくれました。

皆さんが発見した塩竈の魅力を、メールにて教えて ください。

観光振興ビジョン 推進メンバー 大江玲司さん

問 観光交流課人・まち交流係☎364-1165 Eメール kankou@city.shiogama.miyagi.jp

# つどいの地 永代管理供養墓 ~しあわせ~

基本料金

永代使用料及び管理料

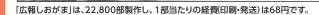
式 40万円 (税別)

永代にわたって大切な人に会いに来ることができる安らぎと安心の碑。跡継ぎがいない方でも 安心のプランとなっております。※詳しばお問合せください

ご夫婦お二人様

永代使用料及び管理料 −式 60万円 (税別)

ペット合同供養墓あり



経営許可番号/塩竈市指令第678号

宮城県塩竈市 向ヶ丘25番9号